

西洋建築史第3回

古代2 - 古典の継承と消失

中島 智章

序.黄昏のローマ世界

Pax Romanaの終焉・・・Marcus Aurelius Antoninusの実子Commodusの暴政と193年の内乱(第2次三帝乱立)

セウエルス朝(Septimius Severus, Caracalla, Geta, Elagabalus, Alexander Severus) 193-235 * 属州にローマ市民権

セプティミウス・セウエルス凱旋門、カラカラ帝の大浴場(Caldarium, Tepidarium, Frigidariumなどから成る)

軍人皇帝時代 「世界の再建者」Aurelianus・・・カエサルによる城壁撤去から300年、再び城壁を建設 パルミユラ

末期帝政時代: Dominatus(専制君主政)の時代 284～ * Diocletianusの帝国四分統治(293)・・・東西に正帝副帝

Constantinusの帝国再統一&遷都(330) Theodosius、帝国二分(395) 西ローマ帝国(~476)と東ローマ帝国(~1453)

マクセンティウス帝のバジリカ(大規模な内部空間の実現) ?コンスタンティヌス凱旋門・・・実はハドリアヌス帝時代か?

ゲルマン民族大移動(~375~568~) 東西ゴート族、ヴァンダル族、ブルグンド族、フランク族、ロンゴバルト族・・・

西ゴートのAlaricus、東ゴートのTheodoricus、フランクのClovis(メロヴィング朝、486-751) 王妃Clotildeのすすめで改宗

西ローマ帝国の復興=Carolus戴冠(800) ローマ教皇とフランク国王の協力 ローマ教皇領の成立=小ピピン寄進(754)

カロリング朝分裂=ヴェルダン(843)、メルセン(870)条約 西フランク王国(~987)、中央帝国(~875)、東フランク王国(~911)

1.初期キリスト教建築

Constantinusのミラノ勅令(313) 帝国統一(324) 同帝洗礼(337) Theodosiusのキリスト教国教化=異教禁止令(391)

「聖座」=「使徒座」の勃興(聖ペテロの後継者たち) 「皇帝のローマ」から「教皇のローマ」へ Byzantium遷都(330)

ニケーア公会議(325) アリウス派を退けアタナシウス派の教説が採られる 三位一体説(父と子と聖霊)へ

聖ヒエロニムス(『ウルガータ訳聖書』)、聖アンブロシウス(ミラノ司教)、聖アウグスティヌス(『告白録』、『神の国』 413-426)

Constantinus帝による聖ペトルス(ペテロ)大聖堂(現存せず) 五廊式のバシリカ式教会堂、Atrium、Narthex、高窓

同帝はサン=ジョヴァンニ=イン=ラテラーノ大聖堂(ローマ司教座聖堂)、サン=パオロ=フォーリ=レ=ムーラ大聖堂も建立

サン=ロレンツォ=マッジョーレ教会(ミラノ) 四方にアプスがある独特の集中式平面、付属礼拝堂に創建当初のモザイク

サンタ=マリア=マッジョーレ大聖堂(ローマ) 三廊式、身廊+側廊×2、アプス、イオニア式列柱、小屋組 ローマの四大教会

サンタ=マリア=アド=マルティーレス教会(ローマ) パンテオン(ローマ)が7世紀に教会へ転用されている

古代神殿の教会への転用例は多い アントニヌス・ピウスとファウスティーナの神殿 サン=ロレンツォ=イン=ミランダ(1602)

サンタンジェロ(ローマ) ハドリアヌス廟の頂上に礼拝堂(聖グレゴリウス 大天使ミカエルが剣を鞘に収める幻を視た)

廃墟のローマ:すでにHadrianus帝治下に帝都の人口は半減 Aurelianusの城壁 * Constantius IIのローマ訪問(357)

2.ビザンツ建築

千年の都Constantinopolis・・・「異教の都」ローマに対して「キリスト教の都」を指向

かつての「ローマ帝国」復興を達成したJustinianus大帝(527-565)だが・・・その後、徐々に東方の一地方勢力に・・・

ローマ司教のカリク教会との対立(451~)・・・聖像禁止令(726)、相互破門(1054) 集中式(ドーム・バシリカ、クロス・ドーム)

Justinianus大帝によるハギア=ソフィア大聖堂 煉瓦造、クーポラ(ドーム)架構 + pendentive 古代建築最後の輝き

同帝によるラウエンナのサン=ヴィターレ大聖堂 大理石、斑紋岩、金色のクーポラ、モザイク、籠彫の柱頭、八角形

ビザンツ帝国の「中世建築」 8世紀以降、貴族層の個人的礼拝のための教会堂が中心に クロス・イン・スクエア

Carolus大帝(Karl大帝, Charlemagne)のアーヘン宮廷礼拝堂 東方的な集中式教会堂(中央に八角形クーポラ)

ヴェネツィア総督宮殿付サン=マルコ礼拝堂(現司教座聖堂) クーポラ架構と金を基調としたモザイク装飾、ギリシア十字形